

平成21年4月15日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006～2009

課題番号：18520032

研究課題名（和文） 唐宋心性思想に関わるデータベース構築の試み

研究課題名（英文） A study of Database Construction on Tang Song xinxing sixiang

研究代表者

坂内 栄夫 (SAKAUCHI SHIGEO)

岐阜大学・教育学部・教授

研究者番号：90225780

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学・中国哲学

キーワード：道教・禅仏教

1. 研究計画の概要

宗教思想古典文献を読解し、その研究成果を生かして、単に従来からある全文一字検索に止まることなく、典拠や語彙の究明に有機的に二次利用できるようなデータベース構築を試みる。

2. 研究の進捗状況

初めの二年間は、主に研究に必要な設備の充実や資料の収集に費やし、併せて宗教思想文献の読解に努めつつ、データベース作成に適する資料の予備的選定を行っていた。この二年間の科学研究費補助金により、必要な設備資料等はほぼ収集することができた。よって、昨年よりデータベースを作成する対象予定の心性思想文献を決定し、それに対してTEIタグセットによるXMLマークアップを開始した。その結果、一応完成のめどを立てる事ができた。そこで、昨年よりデータベース構築に向けて同時に、個人的に京都大学漢字情報研究センターに出向き、同センター守岡知彦助教より、データベース構築のために必要と考えられる専門的知識の供与をうけつつ、具体的な情報処理知識の習得につとめている。具体的にはXEmacs-ChiseをプラットフォームとするElisp言語による漢字情報処理技術である。この技術により所謂ユニコード番号を振られていない、どのような文字でもその文字情報の表示・操作を可能にすることができ

る。また、このシステムに内蔵されているChiseデータベースにより漢字情報を効率的に管理・使用することができる。よって、本年度は、引き続き専門的知識の供与を受けつつ、実際にデータベース構築に向けての作業を行う予定である。

今回このデータベース構築ではまだそれ程完成度の高いものではなく、実験的な段階に止まる可能性が高いが、それでもデータベース完成の際には、古典文献読解の成果である典拠の究明や語彙の確定について、効率的に再利用できるようになる道が開かれると考えられる。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

理由

思想内容の重層性を持つ、適当な宗教思想文献を選定し、それに対してほぼTEIタグセットに基づくXMLマークアップをほぼ完了した。今後は、具体的にデータベース構築に向けて研究を推進していく予定である。

4. 今後の研究の推進方策

ほぼ完成状態にあるマークアップを施したXMLファイルを基にして、具体的にデータベースを作成する。これから、データベー

スの仕様などについて検討を始め、仕様等について決定した後に実際のコーディングを行う予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 1 件)

坂内栄夫『祕書監致仕呂府君墓誌銘并序』をめぐって」

「中國思想史研究」24 号 京都大学中国哲学史研究会 2009 年 3 月刊行決定 現在未刊
査読無

[学会発表] (計 0 件)

[図書] (計 0 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

○取得状況 (計 0 件)

[その他]